GLANMESSE™

GM-BAG / BAM　製品説明書

最終更新：2017 年 8 月 1 日

― 製品概要 ―

裏面に粘着加工を施したインクジェット印刷用シート

― 製品情報 ―

品　番：GM-BAG ／ BAM

製品名：バンドーオーセンティック塩ビ グロス シルバー糊

　　バンドーオーセンティック塩ビ マット シルバー糊

規　格：1370mm×30m　0.25mm 厚（セパレータ込）

　　1370mm×50m　0.25mm 厚（セパレータ込）

　　紙管 3 インチ

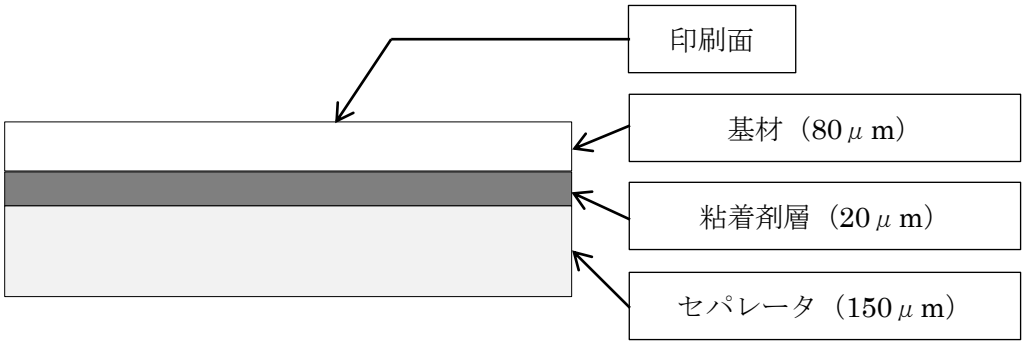
材　質：印刷面（基材）　塩化ビニル樹脂組成物（ポリ塩化ビニル、可塑剤、安定剤、顔料、他）

　　粘着剤層　アクリル樹脂組成物（アクリル樹脂、他）

　　セパレータ　両面ポリラミ紙（上質紙、ポリエチレン、離型剤）

耐候性：使用するラミネートフイルムにより異なる

構　造：



製　造：バンドー化学株式会社　南海工場（大阪府泉南市）

販売元：バンドーエラストマー株式会社

― 含有化学物質 ―

ａ．RoHS 規制（RoHS2 規制含む）、REACH 規則（第 16 次）

RoHS 規制（RoHS2 規制含む）、および REACH 規則 SVHC（高懸念物質）の対象物質の含有については下記のとおりです。

（１）基材・印刷面及び粘着層・・・含有はありません。

（２）セパレータ　　・・・含有はありません。

ｂ．　ELV 規制

規制対象の化学物質について、閾値を超える含有はありません。

ｃ．ホルムアルデヒド

本製品の製造工程においてホルムアルデヒドを使用しておりません。

― 耐候性、耐久性 ―

耐候性及び耐久性については、グランメッセ™シリーズのメディアとラミネートフィルムを積層した状態での機能となります。また、バンドー化学における屋外耐候性とは黄変、クラック（ひび割れ）のみです。縮みや剥がれは対象外となります。

屋外耐候性については、標準的な環境下において、使用するラミネートフィルムの有する耐候性が適用されます。尚、耐候性は弊社試験に基づく測定値であり、保証値ではありません。

＜推奨ラミネートフィルム＞

屋内外	屋内	フロア・その他
GM-ALG/ALM 屋外耐候性 3 年相当（中期）	GM-OLDM ※屋外使用時 1 年相当	GM-SFL ※フロア用
GM-SLG/SLM 屋外耐候性 4 年相当（中長期）	―	GM-UFL ※フロア用
GM-OLG/OLM 屋外耐候性 5 年相当（長期）	―	―

― 防火認定（不燃材料）―

本製品は、規定の下地材、ラミネートフィルム、インクの組み合わせで、防火認定を取得しています。防火認定の書類等が必要な場合は、必ず事前にご確認をお願いします。

＜下地材、ラミネートフィルムの組み合わせ＞

認定番号	下地材	種類	厚み	ラミネートフイルム
NM-2822	アルミ複合板	三菱樹脂㈱　ｱﾙﾎﾟﾘｯｸ/frAD 藤田産業㈱　ｿﾚｲﾀ®不燃 fr	3.0mm	GM-ALG/ALM GM-SLG/SLM
NM-4466	金属板	ｽﾃﾝﾚｽ鋼板、めっき鋼板 圧延鋼板	0.3mm 以上	GM-ALG/ALM GM-SLG/SLM GM-OLG/OLM
NM-4467	ｱﾙﾐﾆｳﾑ合金版	＜JIS H 4000＞ 1050/1060/1070/1100/1200 3003/3004/3105/5005/5050/5052 6101/7204 ＜JIS H 4100＞ 6063/6N01/7003	0.5mm 以上 15.0mm 以下	

※上記、下地材の種類に当てはまらないものはお使いいただけませんので、ご了承ください。
※防火認定の対象となるインクの種類がありますので、発行申込書添付の説明書から必ずご確認ください。

― F☆☆☆☆認定 ―

本製品は国土交通省の定める F☆☆☆☆認定（認定番号：MFN-2738）を取得しています。

なお、本製品の使用において F☆☆☆☆認定となるインクの種類がありますので、発行申込書に添付してあります説明書からご確認ください。

―各種認定書写し、防火施工ラベルの発行 ―

認定書写しや、防火施工ラベルの発行が必要な場合は、指定の発行申込書に記載事項を記入し提出してください。その際、添付の説明書をよく読み、記載内容に問題や漏れがないかをご確認ください。内容に不備があった場合は防火認定関係の書類は発行できかねますので、予めご了承ください。

最新版の発行申込書は弊社ホームページよりダウンロード可能です。

※ダウンロード方法：弊社ホームページ TOP（http://www.bandogrp.com/el/）
＞ ダウンロード　＞ 各種認定関係

― 使用注意事項 ―

１．印刷

・各プリンターメーカーが作成している当社品番の出力プロファイルを使用して印刷してください。それ以外で印刷する場合は、必ず事前にテストを行ってください。
・室温及び周辺温度は 20～30℃で印刷するようにしてください。
・印刷不良の原因となりますので、素手で直接メディアの表面に触れないでください。
・印刷後はゆる巻きの状態で立てて置き、送風機などで冷風を当てて、できるだけ残留溶剤を飛ばすように乾燥させてください。乾燥が不十分な場合、施工後の縮みや剥がれ等様々な不具合の原因となります。

２．加工

・使用環境や使用状況に合わせたラミネートフィルムをお選びください。また、事前に下地材との貼り合わせテストも行うようにしてください。
・印刷後に印字面を空気に触れさせ、十分に乾燥させてからラミネート加工をしてください。
・ラミネート加工時に印刷済みのメディアに触れると指紋など汚れの付着原因となりますのでご注意ください。

３．施工

・既存看板の上に重ね貼りをしないでください。被着体の下地が塩ビフィルムの場合、本来のメディアの性能が発揮されない為、必ず古いシートを剥がしてください。剥がしが困難な場合は、新規の下地材にて施工するなどの対応をお願いします。
・アルミ複合板などを繋ぎ合わせた大型ディスプレイに貼る場合は、１枚毎に巻き込んで施工してください。巻き込みが難しい場合は、アルミ複合板の繋ぎ目でカットするか、またはメディアの端材などで繋ぎ目を補強するなどしてください。

・水貼り施工をする場合は、水分を十分に除去してください。水分が残っていると、経時とともに浮き剥がれの原因となります。
・寒冷地などで下地の温度が低い場合、接着しにくい場合がありますのでご注意ください。
・撤去時などメディアを剥がす時の糊残りは、下地材や使用環境、期間によって異なりますので、予めご了承ください。
・下記下地へは施工できません。（粘着剤の性質上、接着不可）
　— ポリカーボネート(PC)
　— ポリエチレン(PE)
　— ポリプロピレン(PP)
　— シリコン
　— ゴム
　— 石油類、有機溶剤を塗布した面
　※その他下地材でも、素材によって接着不良や変色を起こす場合がありますので、必ず事前にテストするようにしてください。
・ガラス、ウィンドウに施工する際の熱割れ計算は弊社では行っておりません。予めご了承ください。

— メンテナンス —

・グラフィックスの表面を清掃する場合は、乾拭き、または水拭き、洗剤を使用する場合は、研磨剤などを含まない水で薄めた中性洗剤を使用して汚れを拭き取ってください。その際、グラフィックスの断面などから水が入らないよう、十分に注意してください。

— 運搬、保管 —

・湿気や直射日光を避け、風通しの良い冷暗所で、元の梱包状態に戻して保管してください。
・冬季の保管はプリンター機器周辺との温度差の生じない場所で保管してください。
・平滑な床面に保管してください。 重ねて保管する場合は横積み 4 段までとし、また井桁ではなく、全てのケースが同一方向となるように置いてください。（重ね積みは未開封の場合のみ）

— 産廃処理 —

各自治体の産廃処理方法に従って、廃棄するようお願いします。

— 免責事項 —

・本説明書は予告なく変更する場合がございます。予めご了承ください。
・本説明書の無断複製、引用等は原則禁止です。
・使用注意事項については、環境により異なる為、全てにおいて当てはまるわけではありません。